

# 放っておけない!! ネット依存の現実

## ネット依存って何？

ネット依存とは、ゲームやSNSなど、ネットを使わないと不安になったり、利用する時間や方法をコントロールできなくなる状態をいいます。

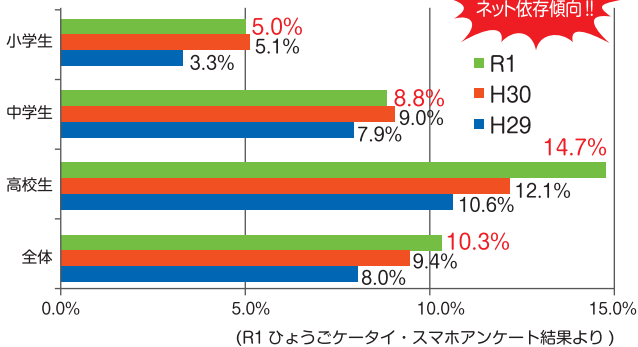
## ネット依存はこんなに怖い

ネット依存の症状は様々ですが、栄養失調や体力低下などの身体の問題、睡眠障害やイライラなど心の問題に加え、粗暴化や不登校なども多く見られ、青少年への悪影響は計り知れません。



## 県内にもこんなに!! ネット依存傾向の子もたち

### 県内のインターネット依存傾向の割合



## 中高生はもちろん、小学生も対策が必須

上のグラフからも分かる通り、ネット依存傾向の割合は増加傾向にあります。ネット利用は、低年齢化しています。小学生のころから利用上のルールを家族で考え決めましょう。

## ネット依存の原因はどこにあるの？

ゲームやSNSそのものの楽しさ、そこで得られるワクワク感はもちろん原因の一つですが、何よりも、子どもが育つ環境が大切で、リアル(現実)が充実している子どもはネット依存に陥ることはありません。

子どもたちに、リアルの世界の素晴らしさを伝えてあげてください。

兵庫県青少年本部では、日常生活でのネット利用を見直したい青少年を対象にしたオフラインキャンプをはじめ、小中高校生自身がネット利用について考えるワークショップやスマホサミットを実施しています。

オフラインキャンプ  検索  スマホサミット  検索

## ひょうごスマホ宣言 2020

- [ 時間 ] スマホより 大事にしてね 家族の時間
- [ 危険 ] 危ないと 感じた時には もう遅い
- [ フィルタリング ] 考えて 守ってあげたい 親心
- [ 人間関係 ] その投稿 増える検索 減る友達



「ひょうごスマホ宣言 2020」は、スマホサミット in ひょうご2019に参加した県内の青少年が考えました。

## ご家庭でネットのルールづくりと見守りを!!

ネットの使い方は個人や家庭、地域などによって様々です。ルールづくりのポイントは、話し合いの場を作り子どもの意見を取り入れて、それぞれに合った現実的なルールをつくることです。



- ルールは、
- ・現実的で実践できるもの
  - ・本人(子ども)が納得できるもの
  - ・画一的、強制的でないものにしましょう

環境の変化や子どもの成長に合わせて、ルールを定期的に見直すことが大切です。

## 【兵庫県での相談窓口】

インターネットに関して、県・県警では、下記窓口を設置しています。いじめ・犯罪等に関してはもちろんですが、ネット上での犯罪等の不適切な書き込みに関しても警察等の相談窓口にご連絡ください。

県警本部サイバー犯罪対策課	078-341-7441(内線3497) 月~金 9:00~17:45(土日祝日を除く)
県警本部少年課ヤングトーク	0120-786-109 月~金 9:00~17:00(時間外は留守番電話)
ひょうごこっ子悩み相談センター	0120-0-78310(24時間)
県精神保健福祉センター こころの健康電話相談専用ダイヤル	078-252-4987 (火~土 9:30~11:30、13:00~15:30)
ほっとらいん相談 (青少年のための総合相談)	078-977-7555 (月・火・水・金・土 10:00~12:00、13:00~16:00)

## 兵庫県企画県民部女性青少年局青少年課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
TEL.078-341-7711(代表) / FAX.078-362-3957  
E-mail seishonen@pref.hyogo.lg.jp  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/org/seishonen/index.html>

# ネットの危険から 子どもを守る 義務がある!!



兵庫県は条例で、青少年のインターネット利用に関する基準(ルール)づくりへの支援を県内すべての人の努力義務としています。また、青少年のスマートフォン、携帯電話へのフィルタリングを原則義務化しています。



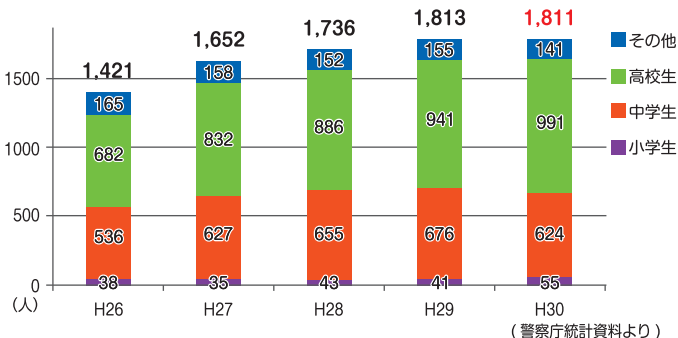
兵庫県教育委員会  
兵庫県警察

# SNS 利用による犯罪被害の増加!!

## SNS利用に起因した犯罪被害青少年数が増加!!

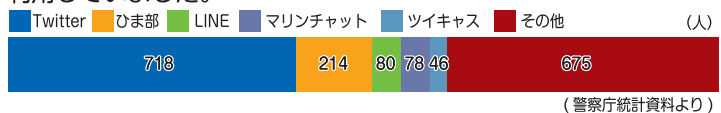
SNS を通じた青少年の犯罪被害が増加傾向です！令和元年は、児童ポルノや誘拐など数多くの事件が報道されています。

### SNS を利用し犯罪被害に遭った青少年数の推移（全国）



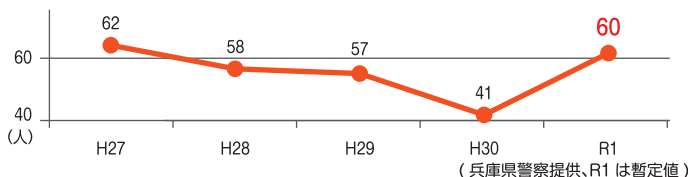
## 保護者が知らない「衝撃」の事実!!

SNSで被害に遭った1,811名の青少年の約4割が「Twitter」を利用していました。

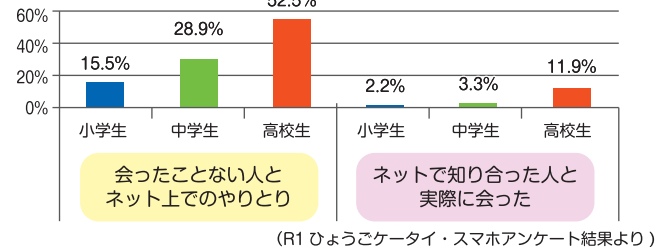


SNSなどの利用により、児童ポルノ等の犯罪被害に遭った青少年が、令和元年中では前年に比べ大きく増加しています。

### SNS を利用し被害に遭った青少年の推移（兵庫）



兵庫県が実施したアンケートでは、SNS などを通じて知らない人とやりとりし、実際に会っている青少年が多数いるという衝撃の事実が判明しています。



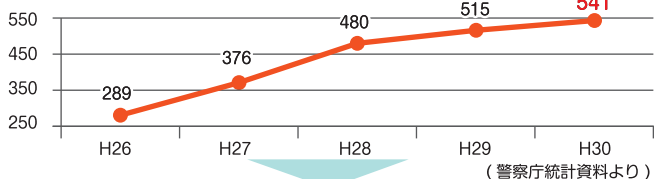
知らない人とのやりとりや接触は、自撮り被害などの犯罪被害に直結する非常に危険な行為です。

## 危険!!

## 兵庫県内でも急増!! SNSに起因する犯罪被害

### 自撮り被害

SNSなどで知り合った相手に、自分の裸や下着姿の写真を送られる「児童ポルノ自撮り被害」が急増しています。



兵庫県では、条例で何人も青少年に対し、児童ポルノ等の提供を求めることを禁止しています。

### 未成年者誘拐事件

令和元年は、全国で青少年が SNS を利用して知り合った大人に連れ去られ、監禁されるなど未成年者を誘拐する事件が急増し、兵庫県の青少年も被害を受けています。



### 被害の実例

SNSで「家出をしたい」と書込んだ青少年に対して、言葉巧みに自宅へ連れ込み長期間に渡り、青少年を誘拐した。

犯人が SNS で知り合った青少年に対してわいせつな行為をするように伝え、その動画や写真を送信させた。

犯人が青少年と直接 SNS で連絡をとり、裸の画像を送らせ、削除を依頼するとインターネットでばらまくと脅された。

## その「薬」本当に大丈夫!?

ネットを通じて青少年が大麻など禁止薬物を入手する事案が増加しています。大麻は幻覚や知的機能の低下などの作用がある危険な薬物です。SNSで勧められたり、友達から誘われても絶対に使用することがないよう、その危険性を子どもに伝えることが大切です。



## そのバイト大丈夫!?

ネット上には、簡単に高額なバイト代が入るなどの書き込みがあり、知らないうちに振り込め詐欺の受け子などの犯罪に加担している場合があります。子どもが安易に危険なバイトをしないよう、しっかりとコミュニケーションをとりましょう。



## 保護者の意識が子どもを救う!

## 被害に遭わないために、保護者ができること

## 「わからない」では手遅れに!!

### ①保護者が子どものネット利用状況に関心を持つ。

無関心が一番ダメ!どんなアプリを使ってどんなことをしているのか保護者自身を知ってください。

### ②誘拐や自撮り被害などについて子どもと話し合う。

被害の実例などを交えて子どもとよく話し合ってください。

### ③家族でネット利用のルールを考える。

利用方法についてよく話し合って決め、環境の変化や子どもの成長に合わせて見直すことが大切です。



## 子どもをネットの危険から守るのは、大人の責任!!

情報社会を生きる子どもたちとよく話し合い、守るべきルールを確認しましょう。

「わからないから」と放置すると、子どもたちが犯罪に巻き込まれ、将来にわたりつらい思いをすることになります。

ネットの危険から子どもを守るために大人も取組む必要があります。

## 子どもを守りたい親の強い味方、フィルタリング

これまでのフィルタリングは「使いづらい」「融通がきかない」といったマイナスイメージが強くなりましたが...



### 簡単に使いやすく進化したフィルタリング

- 設定が簡単に!
- 利用時間やアプリ制限可
- Wi-Fi等にも対応
- ゲーム機等でも設定可能

親が子どもの利用状況に関心を持ち、フィルタリングをはじめとしたペアレンタルコントロールで子どもを危険から守りましょう。